

リスクマネジメント論

単位数：2単位

○宮本まゆみ：基礎看護学講座講師

内田宏美：基礎看護学講座教授

川上利枝：島根大学医学部付属病院 GRM

1. 科目の教育方針

医療安全管理体制の整備が診療報酬システム上でも制度化され、医療リスクマネジメントを推進するための基盤は一応整ったといえる。しかし、高度化・複雑化する医療におけるリスクは増大し続けており、リスクマネジメントの効果的な展開のための理論的方法を構築する必要に迫られている。本科目では、臨床現場の医療安全推進者に照準を当て、組織横断的なネットワークを基盤としたリスクマネジメントの理論的な方法に重点を置いて学習する。

2. 教育目標

- 1) 医療リスクマネジメントの理念・概念・理論・基本的な方法を理解する。
- 2) 現場の医療安全推進者としての活動の遂行に必要な基礎的知識と技術を修得する。
- 3) 医療安全管理者に求められる知識と・技術を理解し、その役割を展望する。
- 4) 医療安全の遂行における情報ネットワークの必要性・重要性を理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 基本テキストを熟読し、自ら文献検討を行い、問題意識を持って授業に臨む。
- 2) 臨床現場の取組みを批判的に分析し、ディスカッションをふまえて課題を解決するための改善策を見出す。

【評価】

評価は授業への主体的参加度、課題学習、プレゼンテーション、課題レポート等により総合的に行う。

4. 使用テキスト、参考文献等

1) 基本テキスト

- (1) Lコーン他編：人は誰でも間違える、日本評論社、2000
- (2) アン・ベイジ編：患者の安全を守る、日本評論社、2006
- (3) 河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー、医学書院、2004

2) 参考図書

- (1) 米国医療の質委員会/医学研究所編：医療の質・谷間を超えて 21世紀システムへ、日本評論社、2002
 - (2) 嶋森好子・他：病棟から始めるリスクマネジメント、医学書院、2003
 - (3) 内田宏美・他：実践から学ぶ病院リスクマネジメント、診断と治療社、2005
 - (4) Jリーズン：保守事故－ヒューマンエラーの未然防止のマネジメント、日科技連、2005
- *その他、授業の中で適宜紹介する。

5. 教育内容

※後期(木)13:00～14:40

回	月/日	内 容	講師
1	<u>6/9(日)</u> <u>10:30～</u>	※ 米子市 鳥取大学医学部記念講堂 医療リスクマネジメントの実際(山陰リスクマネジメント研究会) 医療安全ネットワーク構築の実際	宮本
2	<u>15:30</u>		
3	<u>10/18(金)</u> <u>14:55～</u>	我が国の医療安全の取り組みの経緯 医療安全管理の理念と方法 実践から学ぶ病院リスクマネジメント 医療安全管理者の役割と責務	内田
4	<u>18:30</u>		
5	10/24	リスクマネジメントの理論と方法：基礎文献講読&ディスカッション ・「TO ERR IS HUMAN」	宮本
6	10/31	リスクマネジメントの理論と方法：基礎文献講読&ディスカッション ・「TO ERR IS HUMAN」	宮本
7	11/7	リスクマネジメントの理論と方法：基礎文献講読&ディスカッション ・「TO ERR IS HUMAN」	宮本
8	11/14	リスクマネジメントの理論と方法：文献講読&ディスカッション ・「患者の安全を守る-医療・看護の労働環境の変革」	宮本
9	11/21	リスクマネジメントの理論と方法：文献講読&ディスカッション ・「患者の安全を守る-医療・看護の労働環境の変革」	宮本
10	11/28	リスクマネジメントの理論と方法：文献講読&ディスカッション ・「患者の安全を守る-医療・看護の労働環境の変革」	宮本
11	12/5	リスクマネジメントの理論と方法 ・ヒューマンエラーの原理 ・エラー分析の手法	川上
12	12/12	リスクマネジメントの理論と方法 ・事例検討：背景要因の分析と事故防止対策の立案	川上
13	12/19	リスクマネジメントの理論と方法 ・事例検討：背景要因の分析と事故防止対策の立案	川上
14	1/9	リスクマネジメントの理論と方法 ・事例検討：背景要因の分析と事故防止対策の立案	川上
		課題レポート 〆切 1/16(木) ：医療安全における看護専門職の責務と課題	宮本